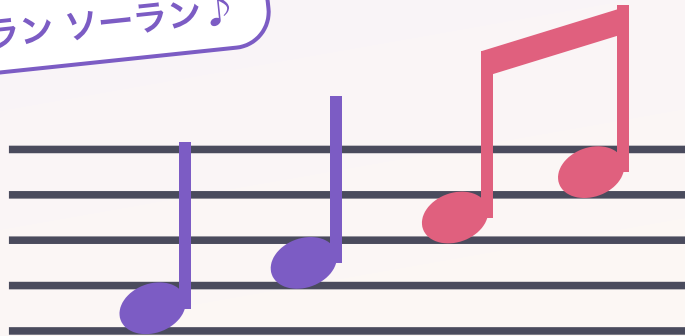


ソーラン ソーラン♪



こぶし、きいてみよう！

民謡

各地の暮らしから生まれた歌



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

民謡を知る	3～11
民謡の歌い方	12～17
民謡を伝える	18～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

民謡ってなに？

民謡は、その土地の暮らしから生まれた歌です。

民謡（みんよう）とは、その土地の暮らしの中から生まれ、歌いつがれてきた歌です。

仕事や祭り、子育てなど、暮らしの場面に合わせてつくられ、多くは作った人の名前が分からないまま、口から口へと伝えられてきました。



民謡が生まれた場面

田植え

舟をこぐ

お祭り

盆踊り

子守り

酒づくり

働く場面や、みんなで楽しむ場面から生まれた歌が多くあります。

ポイント

- 民謡は、地域の暮らしや自然と深く結びついています。
- 作者が分からない歌も多く、歌いつぐ人によって少しずつ変化してきました。

やってみよう

- 「民謡」と聞いて、知っている曲があれば書こう。 _____

ワンポイント 民謡は、その土地の言葉（方言）で歌われることも多く、地域の個性がよく表れています。

書いて覚えよう

仕事の歌・祭りの歌

民謡は、働く場面や祝う場面から生まれました。

仕事の歌

田植えや舟こぎなど、作業のリズムを
合わせるための歌

祭りの歌

お祭りやお祝い場を盛り上げる歌

ポイント

- 仕事の歌は、みんなで息を合わせて働くための、リズムの役目を持っていました。
- 祭りの歌は、地域の人が集まり、にぎやかに楽しむために歌われてきました。

やってみよう

- 1.力を合わせる作業のときに歌があると、どんな良さがあると思いますか。

書いて覚えよう

子守歌には、赤ちゃんを思うやさしさがつまっています。

こもりうた

赤ちゃんを寝かしつけるために歌う、やさしい歌

ポイント

- 子守歌は、ゆったりとした、やさしい旋律のものが多くあります。
- 地域によって、メロディや歌詞のちがう子守歌が伝わっています。
- 熊本県には「五木の子守歌（いつきのこもりうた）」という、よく知られた子守歌があります。

やってみよう

1. 子守歌を聴いたことがあれば、どんな感じがしたか書こう。

書いて覚えよう

日本には、地域ごとに数えきれない民謡があります。

- 日本には、地域ごとに数えきれないほどの民謡が伝わっています。
- 次のページから、地方ごとの代表的な民謡を紹介します。
- 同じ日本の歌でも、地域によってリズムやメロディの雰囲気がちがいます。

1. 自分が住んでいる地方には、どんな民謡があるか調べてみよう。

そーらんぶし

北海道に伝わる、にしん漁の仕事の中から生まれた民謡

- ソーラン節は、にしん漁の作業の中から生まれたといわれる、力強いかけ声が特徴の民謡です。
- 東北地方にも、田植えや盆おどりのための民謡が数多く伝わっています。

1. 「ソーラン節」という言葉を聞いたことがあれば、書こう。

島の暮らしから生まれた民謡もあります。

さどおけさ

新潟県佐渡島に伝わる、おどりをともなう民謡

ポイント

- 佐渡おけさは、新潟県の佐渡島に伝わる、盆おどりでも歌われる民謡です。
- 中部地方には、山や海のくらしに合わせた、さまざまな民謡が伝わっています。

やってみよう

1. 自分の住む地方（関東・中部）に伝わる民謡を、知っていれば書こう。

書いて覚えよう

盆おどりで歌いつがれてきた民謡があります。

ごうしゅうおんど

滋賀県に伝わる、盆おどりで歌われる民謡

ポイント

- 江州音頭は、滋賀県を中心に伝わる、盆おどりの民謡です。
- 近畿地方には、商いの町として栄えた歴史を反映した民謡も伝わっています。

やってみよう

1. 盆おどりで聴いたことのある曲があれば書こう。

書いて覚えよう

軽やかなリズムの民謡も伝わっています。

こんぴらふねふね

香川県に伝わる、テンポの軽やかな民謡

ポイント

- 金比羅船々は、香川県の金刀比羅宮（ことひらぐう）参りにちなんだ、軽快な民謡です。
- 中国地方にも、漁業や農業に関わる民謡が各地に伝わっています。

やってみよう

1. 軽快な曲と、ゆったりした曲、どちらが好きですか。

書いて覚えよう

熊本県に伝わる、よく知られた子守歌

沖縄県に伝わる、軽快なリズムの民謡

- 九州には、五木の子守歌など、心にしみるような民謡が多く伝わっています。
- 沖縄の民謡は、独自の音階やリズムを持ち、他の地方とはちがう響きがあります。

1. 九州・沖縄の民謡と、他の地方の民謡、響きにちがいを感じますか。

11

民謡の歌い方（こぶし）

こぶしは、民謡らしさを生む歌い方です。

こぶし

こぶし

音をゆらしたり、細かく動かしたりする、民謡特有の歌い方

ポイント

- こぶしは、1つの音をまっすぐ伸ばさず、細かくゆらして歌う技法です。
- こぶしを効かせることで、民謡らしい味わいが生まれます。

やってみよう

1. 「こぶし」を効かせた歌声を聴いたことがあれば、どんな感じだったか書こう。

書いて覚えよう

合いの手とはやし言葉

掛け声が、みんなで曲を盛り上げます。

合いの手

あいのて

歌の合間に入れる、かけ声や短い言葉

はやし言葉

はやしことば

歌を盛り上げるための、リズムカルな言葉



Ken

民謡には「ソーラン ソーラン」みたいな掛け声があるね。

Emma

ああいうのを合いの手っていうんだね。曲が盛り上がるね！



ポイント

- 合いの手やはやし言葉は、歌い手だけでなく、聴く人や踊る人も参加できる仕組みです。
- みんなで声を合わせることで、その場の一体感が生まれます。

やってみよう

1. 知っている合いの手やかけ声があれば書こう。 _____

書いて覚えよう

弦をばちではじいて鳴らす、民謡でよく使われる楽器

打楽器。リズムを支え、場を盛り上げる

メロディや合いの手を彩る管楽器

ポイント

- 民謡の伴奏には、三味線や太鼓、笛などの和楽器がよく使われます。
- 楽器がリズムを支えることで、歌や踊りが合わせやすくなります。

やってみよう

1. 民謡の伴奏に使われる楽器を、知っているだけ書こう。

書いて覚えよう

盆踊りの歌

盆踊りは、地域のつながりを深める行事です。

ポイント

- 盆踊りは、お盆の時期に、地域の人が集まっておどる行事です。
- 盆踊りでは、地域に伝わる民謡や、盆踊り用の歌がよく使われます。
- 輪になっておどることで、地域の人どうしのつながりが深まります。

やってみよう

1. 盆踊りに参加したことがあれば、そのときの様子を書こう。

書いて覚えよう

- 民謡の歌詞には、その土地の景色や仕事、暮らしの様子がえがかれています。
- 方言で歌われることも多く、意味を知ると、より深く味わえます。
- 歌詞の意味を調べてみると、昔の人の暮らしが見えてきます。

1. 知っている民謡があれば、歌詞にどんな景色や暮らしが出てくるか調べてみよう。

民謡を守る人たち・自分の地域の民謡

民謡は、地域の人たちの手で伝えられています。

Emma

民謡って、どうやって今まで伝わってきたのかな？



Ken

地域の保存会の人たちが、歌やおどりを大切に受けついでいるんだって。

ポイント

- 各地には、民謡を受けついで伝える「保存会」などの活動があります。
- 学校の授業や地域の祭りも、民謡を次の世代に伝える大切な場になっています。

やってみよう

1. 自分が住む地域に伝わる民謡があるか、家族や図書館で調べてみよう。

書いて覚えよう

民謡の魅力

民謡には、土地の思いがつまっています。

ポイント

- 民謡には、その土地の自然や暮らし、人々の思いがつまっています。
- 地域ごとの個性があり、聴きくらべると新しい発見があります。
- 民謡を知することは、日本各地の文化を知ることにもつながります。

やってみよう

1. 民謡のどんなところに魅力を感じますか。

ワンポイント 民謡は、今もお祭りや行事の中で歌いつがれ、生き続けています。

書いて覚えよう

合いの手で、盛り上げる練習をしましょう。

- 21

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

こぶしが難しい

音をゆらす感覚がつかめない

方言の歌詞が分からない

聞きなれない言葉が多い

リズムがつかめない

合いの手のタイミングが合わない

コツ

こうしてみよう

少しずつ音をゆらす

小さくゆらすことから始める

歌詞の意味を調べる

先に意味を知ってから歌う

手拍子で確かめる

先にリズムだけ練習する

ポイント

- 最初はうまくいかなくても、聴くほどに民謡らしさが分かってきます。

やってみよう

- あなたがいちばん難しいと感じたのはどれですか。 _____
- 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

民謡のことば

☐ 民謡

その土地の暮らしから生まれた歌

☐ こぶし

音をゆらして歌う技法

☐ 合いの手

歌の合間に入れるかけ声

民謡の場面

☐ 仕事の歌

作業のリズムを合わせる歌

☐ 祭りの歌

お祝いの場を盛り上げる歌

☐ 盆踊り

輪になっておどる行事

民謡の楽器

☐ 三味線

弦をばちではじく楽器

☐ 太鼓

リズムを支える打楽器

☐ 笛

メロディを彩る管楽器

地方の民謡

☐ ソーラン節

北海道に伝わる民謡

☐ 佐渡おけさ

新潟県に伝わる民謡

☐ 谷茶前

沖縄県に伝わる民謡

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と説明を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|-----------------|
| ソーラン節 | ● | ア. 音をゆらして歌う技法 |
| 佐渡おけさ | ● | イ. 北海道に伝わる民謡 |
| こぶし | ● | ウ. 新潟県に伝わる民謡 |
| 合いの手 | ● | エ. 民謡を受けついで伝える会 |
| 保存会 | ● | オ. 歌の合間に入れるかけ声 |

2. 正しいほうに○をつけよう

1. 弦をばちではじいて鳴らす楽器は → (三味線 / 太鼓)
2. 歌の合間に入れるかけ声は → (合いの手 / はやし言葉)

書いて覚えよう

25

地方の民謡を1曲聴く

民謡の楽器の写真を見る

好きな民謡を口ずさむ

自分の地域の民謡を調べる

家族に民謡を知っているか聞く

気づいたことをノートに書く

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

発表してみよう・感想を書こう

気になった民謡を、人に伝えてみよう。

気になった民謡

伝わる地方

音色や歌い方の感じ

伝えたい人

Ken の例

気になった民謡 ソーラン節／伝わる地方 北海道／音色や歌い方の感じ 力強いかけ声が印象的だった／伝えたい人 家族

感想を3文で書こう

① この民謡は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

民謡の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

民謡の本や歌詞集を探す

祭りへ

地域の祭りで民謡を聴く

動画で

民謡と踊りの様子を見る

次のステップ

わらべうた

子どもの遊びから生まれた歌

方言

歌詞に出てくる地域の言葉

和楽器

民謡を支える楽器

ポイント

- この教材の次は「わらべうた」。子どもの遊びから生まれた歌を学んでいきます。

書いて覚えよう

知らない地方の民謡を1曲聴く

好きな民謡を口ずさんでみる

自分の地域の民謡を1つ調べる

L26 ソーラン節→イ 佐渡おけさ→ウ こぶし→ア 合いの手→オ 保存会→エ 2. 三味線／合いの手 L33 (例) その土地の暮らしから生まれ、歌いつがれてきた歌。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。